

■多様な主体との“協働”

～「災害ボランティアセンター設置・運営研修 in 小城市」を開催しました～

近年頻発する災害においてボランティア活動は欠かせないものとなっており、被災市町の社協が災害ボランティアセンター（以下「災害VC」）を設置・運営しています。▶災害VCは、住家の片付け等の支援にとどまらず、被災者の心身を支え、地域での安心な暮らしの再建に寄り添うという、社協本来の役割も担っています。多様な主体が連携することで支援の幅は大きく広がるため、その運営には、行政の協力に加え、CSOや住民と協働で取り組むことが全国的にも推奨されています。▶こうした背景のもと、6月13日、小城市社協との共催により「市町社協災害VC設置・運営研修」を開催しました。小城市では行政、CSO、社協による三者連携体制の構築を進められており、その実践を意識した研修となりました。▶当日は県内市町社協職員、行政、CSO、住民の方など、想定を大きく上回る160名を超える皆さまにご参加いただきました。▶講師には、にいがた災害ボランティアネットワーク理事長の李仁鉄氏をお迎えし、講義に加え、具体的な災害を想定したセンター運営訓練を実施しました。豊富な災害現場での支援経験に基づく実践的な内容だったこともあり、参加者は熱心に耳を傾け、「災害時に自分たちは何ができるか」を真剣に考える貴重な時間となりました。▶本会は今後も市町社協とともに、災害に備えた平時からの支援体制の整備に取り組みます。なお本研修は、第2回を12月4日（金）に鳥栖市で、第3回を2月20日（土）に江北町で、各社協との共催により実施します。



【参加者に語りかけながら講義
を行う李氏】

■福祉現場の業務効率化を図る！

～福祉従事者研修「生成AI活用研修【基礎編】」を開催しました～

本会では、6月16日に福祉従事者を対象とした「生成AI活用研修【基礎編】」を開催しました。講師には、株式会社アクトフォーカス代表取締役の石橋哲哉氏を迎え、急速に普及する生成AIを業務にどう活かすか、その基礎を学びました。▶本研修では、ChatGPT、Claude、Geminiといった代表的なツールの特徴や、従来のAIとの違いを解説いただき、福祉分野での具体的な活用例として、利用者記録の草稿作成や申請書類の下書き、マニュアル作成などが紹介され、業務効率化への効果について説明されました。

▶一方で、情報セキュリティについても強調され、個人情報の取扱いに注意することや、AIの回答を鵜呑みにせず、必ず人間が「ファクトチェック（事実確認）」を行うことなど、安全に使いこなすためのルールについても説明されました。▶最後には、AIに対して何をしてほしいかを伝える指示文「プロンプト」の基礎を学び、実際に操作を体験するワークが実施され、講師からの「AIは習うより慣れよ」という助言も踏まえ、参加者は真剣な表情でAIとの対話を実践されていました。▶本会では、今後も現場に則した様々なテーマ（リスクマネジメントや福祉機器）の研修を予定しています。みなさまの参加を心よりお待ちしております。



【熱心に学ぶ参加者】

◆県社協ホームページアドレス

<https://www.sagaken-shakyo.or.jp/>

◆県社協公式 Instagram

<https://www.instagram.com/sagakenshakyo/>

◆貸会議室予約システム

<https://sagaken-shakyo.resv.jp>



■介護のイメージが変わる！～「はじめまして介護の仕事」セミナーを開催～

6月1日、介護の仕事に興味がある未経験者を対象としたセミナーを開催しました。▶本セミナーは、ハローワーク唐津との初めての共催により、介護の仕事への理解を深め、就職への第一歩を後押しすることを目的として企画しました。▶当日は、介護施設の種類や介護の資格取得の方法に関する講話に加え、レクリエーション体験も取り入れることで、参加者に楽しみながら介護の仕事の魅力を体感していただきました。▶講師からは、介護職は「その人らしい暮らしを支える仕事」であり、利用者の尊厳を守る専門職であることが紹介されました。また、介護の経験がなくても、育児で培った気配りや接客で身に付けた対話力、家事で養われた段取り力など、これまでの人生経験が現場で大いに生かせることが伝えられました。▶参加者からは、「介護の仕事に興味が湧いた」「不安が解消され、働くイメージが持てた」などの感想が寄せられ、介護の仕事への理解と関心を深める機会となりました。▶本会では、今後も県内ハローワークと連携し、未経験の方が安心して介護分野への一歩を踏み出せるよう、介護人材の確保・定着に向けた取組を推進します。



【講師の話に熱心に耳を傾ける参加者】

■地域の住民さんとともに暮らしの「安心」をつくるために ～市町社協新任職員の「初めのいっぽ」～

6月11～12日の1泊2日、佐賀市富士町の「SAGA FURUYU CAMP」にて、市町社協の新任職員研修会を開催しました。この研修は、新任職員の皆さんが悩みや課題を共有できる「仲間づくり」を目的に、宿泊の形式で実施しています。▶1日目は、多久市社協の小野原さん、武雄市社協の前田さんから、先輩職員として普段の業務で大切にしている想いなどをお話いただきました。午後は、九州大谷短期大学の中村秀一教授より「社協の役割」についてご講義いただき、地域を支える社協職員としての心構えを学びました。▶2日目は、「社協に期待されること」や「社協職員として果たすべき役割」をテーマに、班ごとの話し合いを中心に行いました。理想の社協職員像に近づくためには、どのような力や知識が必要か、どのような取り組みが必要かなどについて考え、班ごとに発表しました。▶最後に、中村先生から、『社協職員として、住民の皆さまに「安心」を提供してほしい』と、愛情あふれる温かい激励をいただきました。2日間にわたる中村先生の笑いあり涙ありのご講義は、新任職員の心に響く貴重な時間になりました。▶本会では、今後もこうした研修を通じて、職員同士の「横のつながり」を深める機会を積極的に創出していきます。各市町の社協がつながり、住民の皆さまの暮らしの困りごとを効果的に解決していけるよう、これからも力強く支えてまいります。



【中村先生の話に聞き入る受講者】

【お知らせ】 福祉従事者研修 9月～11月開催分

(新) I C Fに基づく福祉機器の活用研修	対面研修	9月15日
支援につなげる記録の書き方研修	オンライン	9月24日
アンガーマネジメント研修《半日》	オンライン	10月6日
こどもの虐待防止研修会【初級編】※児童養護施設協議会主催研修	対面研修	10月16日
こどもの虐待防止研修会【中級編】※児童養護施設協議会主催研修	対面研修	11月5日
(新) B C P（事業継続計画）研修 《半日》	オンライン	11月11日
チームビルディング研修 《半日》	オンライン	11月20日